

技術評価項目		技術評価項目の詳細項目 (〔 〕は評価単位を示す)	評価対象	配点	比率 (配点/500)	評価手法	
提案全体像		〔目的に対する方針〕	提案書	10	2%	①	
仕様書要件	製品要件	〔製品要件〕	提案書	20	4%	①	
	ソフトウェア要件	〔インターフェース要件〕	提案書	15	3%	①	
	管理機能要件	〔管理機能要件〕	提案書	20	4%	①	
	ユーザー要件	〔ユーザー要件〕	提案書	15	3%	①	
	機能要件	機能要件書	機能要件書	機能要件書	60	12%	②
		〔追加機能提案〕	提案書	30	6%	③	
	シナリオ作成	〔シナリオ作成〕	提案書	15	3%	①	
	操作研修	〔操作研修〕	提案書	10	2%	①	
	保守サポート	〔保守サポート〕	提案書	30	6%	①	
	業務追加時の方針提案	〔シナリオ作成作業〕〔シナリオ作成費用〕 〔ソフトウェア調達〕 〔保守サポート内容〕〔保守サポート費用〕	提案書	30	6%	④	
導入実績		〔RPA導入実績〕	提案書	10	2%	①	
実施体制		〔本件委託の実施体制／メンバーの業務実績／マネジメント方針等〕	提案書	10	2%	①	
実施スケジュール		〔本委託の全体マイルストーンや作業項目実施スケジュール等〕	提案書	10	2%	①	
課題と対応策		〔本委託を進める上で認識している課題とその対応策等〕	提案書	15	3%	①	
合計				300	60%		

<評価手法①>

- ・提案書を対象に、技術評価項目の詳細項目の評価単位毎に次の4段階で評価点を出す。
5(優れている)、4(やや優れている)、3(仕様を満たしている)、1(満たしていない)
- ・評価点は、提案書の内容にプレゼンテーションの内容を加味した上で出すものとする。
- ・技術評価項目の技術評価点は、次の計算式により算定する。
$$\text{技術評価点} = \text{配点} \times (\text{評価点の合計値}) \div (5 \times \text{評価単位数})$$
- ・技術評価項目の詳細項目の評価単位で1つでも半数を超える委員が1(満たしていない)の評価を行った場合は、失格とする。

<評価手法②>

- ・機能要件書をもとに、次の計算式により算定する。
$$\text{技術評価点} = 60 \times (\text{区分が}\square\text{で対応可否が}\bigcirc\text{の項目数}) \div (\text{区分が}\square\text{の総項目数})$$

〔区分の種類〕
◎:必須(ソフトウェア標準対応)
□:要望(ソフトウェア標準対応)
〔対応可否の種類〕
○:対応可
×:対応不可
- ・区分が◎の項目で対応可否が×の場合は、失格とする。

<評価手法③>

- ・提案された機能毎に次の3段階で評価点を出す。
5(採用し大いに効果がある)、3(採用)、0(不採用)
- ・評価点は、提案書の内容にプレゼンテーションの内容を加味した上で出すものとする。
- ・技術評価項目の技術評価点は、次の計算式により算定する。
$$\text{技術評価点} = \text{配点} \times (\text{評価点の合計値}) \div (5 \times 3\text{機能})$$

<評価手法④>

- ・提案された内容に、技術評価項目の詳細項目の評価単位毎に次の3段階で評価点を出す。
6(大いに優れた提案である)、3(優れた提案である)、0(優位性のない提案である)
- ・評価点は、提案書の内容にプレゼンテーションの内容を加味した上で出すものとする。
- ・技術評価点は、評価単位毎の評価点の合計値とする。